

ガスを安全にご利用いただくために 一酸化炭素中毒にご注意

安全にガスをお使いいただくために、一酸化炭素中毒に十分にご注意ください。
 大切なご家族を守るため、どのようなことに注意したらよいかをここでご紹介します。

給排気設備や使用方法の確認を！

排気筒の不備や**不適切な使用**は、不完全燃焼を引き起こす恐れがあります。

給排気設備とは、ガスの燃焼に必要な空気を補給し、排気ガスを屋外へ排出する設備のことです。具体的には、給排気筒（煙突）や、給気口などのことで、この給排気設備に不備があると、ガス機器が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因になる恐れがあります。また、ガス機器の誤ったご使用も不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になる恐れがあります。

一酸化炭素は少量でも危険

色もニオイもないけど、毒性は強力！

- 無色・無臭なので、とても気づきにくいのですが、毒性は強力。少量でも危険です。
- 軽度の中毒症状は風邪に似ていて、気づくのが遅れることがあります。
頭痛・吐き気がしたら要注意。重くなると手足がしびれて動けなくなることがあります。
- 重症になると、脳細胞が破壊されたり、意識不明になるなどして、死に至ることもあります。

[空気中の一酸化炭素濃度と吸入時間による中毒症状]

- ・ 0.04% = 1～2時間で前頭痛や吐き気、2.5～3.5時間で後頭痛がします。
- ・ 0.16% = 20分間で頭痛・めまい・吐き気がして、2時間で死亡
- ・ 0.32% = 5～10分で頭痛・めまい、30分間で死亡
- ・ 1.28% = 1～3分間で死亡



※0.04%って、どのくらい？

標準的な浴室(5立方メートル)に、2リットルのペットボトル1本分の一酸化炭素を混ぜたくらい。

それだけでも吐き気が起きるほど毒性の強い気体です。

換気にもっと気配りを

ガス機器の使用中は換気してください。

ガスは新鮮な空気がないと完全に燃えません。

小型湯沸器やガスコンロなどの使用中は、換気扇を回し、換気をしてください。

[1時間の使用に必要な空気]

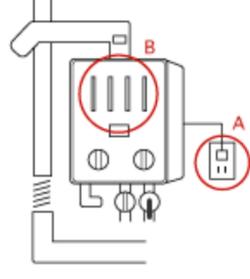
- ・ ガスコンロ(ガス消費量7.3kW) → 7.6立方メートル(ドラム缶38本)
- ・ 小型湯沸器(ガス消費量11kW) → 11.4立方メートル(ドラム缶57本)
- ・ CF式ふろがま(ガス消費量12kW) → 12.4立方メートル(ドラム缶62本)
- ・ 大型給湯器16号(ガス消費量34.9kW) → 36立方メートル(ドラム缶180本)

● ファンヒーターやストーブご使用時は…

お部屋を閉めきったまま暖房を続けていると、新鮮な空気が不足します。30分に1回、1分程度（ファンヒーターは60分に1回1分程度）換気を行ってください。

● 煙突と排気ファンが付いている屋内設置型湯沸器をご使用時は…

- ・ 電源が入っていることをご確認ください。（Aを参照）
- ・ 排気ファンが作動していること（音など）をご確認ください。（Bを参照）

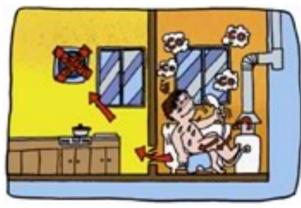


● 業務用ガス機器のご使用時は…

- ・ 換気扇、排気ファン等で常時換気するよう、全員が心がけてください。
- ・ 湯沸器をご使用の際も忘れずに換気してください。
- ・ 流し台と湯沸器の設置場所が離れている場合も、換気装置の運転を確認してからお使いください。
- ・ 排気ダクトなどで共同換気を行っている建物では、換気装置稼働時間内にガスをご使用ください。

● ただしこのような場合は換気しないでください。

屋内に設置された煙突式ふろがまでお風呂を沸かしているときやシャワーを使っているときは、隣のキッチンで換気扇を使用しないでください。ふろがまの排気が逆流して、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。



お取り替えのおすすめ

大阪ガスでは、不完全燃焼防止装置付でない小型湯沸器をご利用のお客さまや、給湯器・ふろがま等を波板などで囲われているお客さま、給排気設備が設置基準を満たしていないお客さまに対し、周知チラシ等を利用し、改善をおすすめしています。

不完全燃焼防止装置付でない小型湯沸器や金網式ガスストーブは、換気不足やほこり詰まりによる不完全燃焼で一酸化炭素中毒事故が起こる恐れがあります。不完全燃焼防止装置付タイプへのお取り替えをおすすめします。また、屋内に設置されている湯沸器やふろがまは、屋外に設置するタイプへのお取り替えをおすすめします。

継続してお使いいただく場合には、以下の点にご注意ください。

● 不完全燃焼防止装置付でない小型湯沸器

- ・ 必ず窓を開けるか、換気扇を回してください。
- ・ 風呂、洗濯、シャワー用には使わないでください。
- ・ 気分が悪いと思ったら、ただちに使用を中止して、換気を行ってください。

※定期的に点検を受けられることをおすすめします。

● 金網式ガスストーブ

- ・ 金網が変形や破損はしていませんか？
- ・ ススがでていませんか？
- ・ 使用中、赤熱ムラが来ていませんか？
- ・ イヤな臭いがしませんか？



上記のような現象が出たら、すぐに使用を中止し、大阪ガスへご連絡ください。

※暖房シーズン前に、不具合がないかプロの点検実施をおすすめします

ガスの使用開始時や、定期保安巡回時にお渡ししている「あんしんガイド」、「周知チラシ」にも同様のお知らせを掲載していますので、是非、ご覧ください。

大阪ガスのおすすめ安全機器

屋内にガス機器を設置される場合には、安全機能付きガス機器・警報器のお取り付けをおすすめします。

● 火災・不完全燃焼警報機能付き

ガス警報器 ぴこぴこ



一酸化炭素を検知すると、ランプの点灯や音声でお知らせするので、不測の事態を防止します。

[詳しくはこちら](#)

● 小型湯沸器

(不完全燃焼防止装置付)



不完全燃焼を検知すると自動的にガスをストップするので、安心してお使いいただけます。

● 屋内設置壁掛け型給湯器



COセンサー搭載で不完全燃焼を検知します。